

# KOGA IDOL

いいこが  
育つ古河



奥貫 稜久 くん

(平成29年12月生まれ・幸町)

笑顔が可愛い稜久♡これからたくさん笑って元気に育ってね!  
(父：翔太、母：玲奈)



石渡 美羽 ちゃん

(平成29年2月生まれ・駒羽根)

我が家の天使、美羽ちゃん♡天使みたいな笑顔でこれからも癒してね。  
(父：真誠、母：幸)



片桐 大雅 くん

(平成29年9月生まれ・大山)

いつも元気いっぱいの大雅☆家族みんなの宝物♡大好きだよ♡  
(父：正義、母：輝鶴)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0～3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールのタイトルを「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、hisho.kouhou@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎秘書広報課)へ申し込みください♪



わたしの夢

## 最強のボクサーを目指して

木村悠さん 諸川小学校6年生

ぼくは、将来プロボクサーになりたいです。  
そのきっかけは、3年生の時に見たボクシングの試合です。はじめて見たボクシングは、すごい力でした。ぼくも将来、あんなふうになりたいと思っています。  
今は、週に3回ジムでなわとびやミット打ちをしています。世界チャンピオンになって、もっと強い相手と戦いたいです。ジムに通わせてもらっていることに感謝し、これからも練習をがんばります。



# キラリ☆輝く人たち

## 世界で輝くジャンパーに

### 内藤智文 さん(幸町・25歳)

昨シーズン、スキージャンプ競技の国内大会で4勝をあげ、ワールドカップにも初出場し、全日本スキー連盟の国内ランキング第1位で締めくくった内藤さん。平昌オリンピックでもテストジャンパーとして活躍しました。今シーズンのワールドカップ出場に向けて仕事をしながらも、トレーニングや遠征に励む内藤さんにこれからの目標について伺いました。



### 長野で受けた衝撃

東京都調布市で生まれ、雪とは全く縁のなかった内藤さんが、スキージャンプ競技に興味を持ったきっかけは、4歳の時に家族で見に行った長野オリンピック。大雪が降る中、白馬スキー場のジャンプ台で原田雅彦選手が見せた大ジャンプでした。あの時の会場が震えるような興奮は、今でも鮮明に覚えていると言います。

翌年、葛西紀明選手の故郷でもあり、スキージャンプ競技が盛んな北海道下川町に家族旅行し、お兄さんと一緒にジャンプ体験をしたことが、内藤さんの競技人生の始まりでした。

### 青春の全てを捧げて

15歳までは、都内の学校に通っていたので、休みのたびにお兄さんと共にジャンプの練習をするため、長野県のスキー場に通う日々でした。良きライバルでもあった3歳年上のお兄さんがいたこと、毎週スキー場に連れて行ってくれた両親がいたから

こそ、スキージャンプに専念できたと話します。

高校からは、思い出の地でもある北海道下川商業高等学校に進学し、高いレベルの中でジャンプ競技に没頭しました。その後、東海大学に進学し、これからどうやってジャンプ競技を続けていくか悩んでいた時に、救いの手を差し伸べてくれたのが、市内在住の鈴木寿雄さんでした。

### 古河に住み、世界を目指す

茨城県スキー連盟の会長でもあった鈴木さんは、未来のある若い芽をつぶしたくないという思いから、自身の会社で雇い、ジャンプ競技に専念できる環境づくりを心掛けたと言います。

周囲の温かいサポートもあり、茨城県の国体選手に選出されるほか、ワールドカップやオリンピックへの出場権獲得など、目覚ましい飛躍を遂げていきました。その他にも、国内大会で4勝をあげ、全日本スキー連盟のジャンプ競技ランキングで第1位になるなど、破竹の勢いはいまだ継続しています。



そんな内藤さんが悔しそうに話すのは、平昌オリンピックの選考から最終的に外れてしまい、テストジャンパーとしてしか参加できなかったこと。強風が吹き難しい条件の中で、日本代表チームのためにテストジャンプを繰り返しました。その距離は代表選手よりも遠くに飛んでいたのに、実力的には負けていないと自信をつけたそうです。

今後の目標は、ワールドカップでの初勝利と、来年行われる茨城国体での優勝。その目標に向けてトレーニングを重ねる内藤さんにこれからも注目です。